

倉橋惣三編 (新刊)

新體幼稚園唱歌

四六倍判
定價(送料共)
金七拾錢

目 日本国旗日の丸の旗
倉橋惣三作詞
次 道 ぶしん
倉橋惣三作詞
井上武士作詞

いびんやさん
倉橋惣三作詞
弘田龍太郎作曲
渡し場の船頭さん
倉橋惣三作詞
中山晋平作曲
火消しのなちさん
倉橋惣三作詞
小林つや江作曲

日本幼稚園協會編 (新刊)

幼稚園新唱歌

四六倍判
定價(送料共)
金五拾錢

目 だか
山村耕輔作詞
小松耕輔作曲
次 雨
小松耕輔作詞
小松耕輔作曲

ほたる
青山綾子作詞
小松耕輔作曲
ふしん場
小松耕輔作詞
氏原銀作詞

〇この二つの新刊幼稚園唱歌集は、幼稚園の爲に新しい歌曲を求めて居らるゝ方々に必ずや充分歓迎せらるることを期待してゐる。

生徒募集

本科生四十名

研究生若干名

願書受付三月二十日迄規則書は参錢切手
封入の上申込まれよ。

玉成保姆養成所

所長 ソフアヤ・アラベラ・アルウ井ン

東京市杉並區西高井戸一丁目一三三
省線 西荻窪下車直南約五丁

創立以來廿五年。

大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、

附近に森あり、野あり、川ありて四時自

然の恩恵を受け、本校の特色とする自然

觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用

の手工等材料豊富なり。

幼兒童話及幼兒唱歌募集

—フレーベル賞による懸賞募集—

先年株式會社フレーベル館高市社長より同館創業三十周年記念として、保育資金一千五百圓を全國保育界に對して提供せられ、その使途につき本會に委託せられましたことは度々本誌上に御報告申上げた通りであります。よつて本會はそのため特に實行委員諸氏を御委嘱し、協議の上、童話手技等の懸賞募集を行ひ來り、いづれも好成绩を擧げましたことも御承知頂いてゐるご存じます。今回は更に募集範圍を擴大して、幼稚園の方々の外、小學校教育御關係の方々にも御應募を乞ふことゝしました。廣く多數の優秀作品を得たいご期待して居ります。左の規定により盛に御應募下さるやう願ひます。

(一) 童話募集規定

— 應募作は幼兒に適する童話たること。

— 主題、内容、長短は隨意。

— 幼稚園、託兒所保母諸君及び小學校教員諸君の自作たること。(舊作にてもよろし)

— 應募篇數任意。お一人にて兩方に應募せらるゝこと素より任意。

— 原稿紙にペン書のこと。

— 應募者は宿所、氏名(謄上匿名隨意)及び奉職園校の名稱、所在地を明記のこと。

— 日本幼稚園協會(東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内)童話募集掛宛のこと。

— 締切 昭和十五年二月末日

發表 昭和十五年六月一日本會發行の「幼児の教育」誌上。

一 入選作は本誌に掲載し、賞状及賞金を贈呈します。

一 フレーベル賞

一 等一名金參拾圓 二等一名金貳拾圓 三等一名金拾圓 選外佳作若干名(賞品贈呈)

一 審査(五十音順)

一 小川未明氏 及川ふみ氏 岸邊福雄氏 倉橋惣三氏 葛原 齒氏 久留島武彦氏

一 原稿は一切返却しません。

一 尚御不明の點は往復はがきで本會童話募集掛宛お問合せ下さい。

(二) 幼兒唱歌募集規定

一 應募作は幼兒にうたはせるに適するものたること。

一 主題、内容、長短は隨意。

一 幼稚園、託兒所保姆諸君及び小學校教員諸君の自作たること。(舊作にてもよろし)

一 應募篇數任意。お一人にて兩方に應募せらるゝこと素より任意。

一 原稿紙にペン書のこと。

一 應募者は宿所、氏名(誌上匿名隨意)及び奉職園校の名稱、所在地を明記のこと。

一 日本幼稚園協會(東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内)幼兒唱歌募集掛宛のこと。

一 締切 昭和十五年二月末日

一 發表 昭和十五年六月一日本會發行の「幼児の教育」誌上。

一 入選作は本誌に掲載し、賞状及賞金を贈呈します。

一 フレーベル賞

一 等一名金參拾圓 二等一名金貳拾圓 三等一名金拾圓 選外佳作若干名(賞品贈呈)

一 審査(五十音順)

一 小川未明氏 及川ふみ氏 岸邊福雄氏 倉橋惣三氏 葛原 齒氏 久留島武彦氏

一 原稿は一切返却しません。

一 尚御不明の點は往復はがきで本會幼兒唱歌募集掛宛お問合せ下さい。

昭和十四年十一月

東京市小石川區東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

法政大學
教授

城戸幡太郎先生著

(最新刊)

菊判二五〇頁 定價一圓八十錢
布裝上製函入 送料十六錢

幼兒教育論



興亞日本の建設發展のために、輝ける本書を全保育人に贈る
健全なる國民の育成こそは、幼兒の保育よりスタートせねばならぬ
強く正しく導くために、幼兒教育の新組織を樹立し全問題を解明した最も科學的な幼兒教育論である

— 網 大 次 目 —

- I 就學前教育の重要性 ○我等は何をなすべきか○幼兒教育の歴史と問題○幼兒教育と國民教育○幼兒生活と保育者
- II 社會事業と保育事業 ○フレイベルとオーウエン○社會事業と兒童問題○貧困兒童の問題○農業期託兒所の問題○農村における保育事業の託兒所と母親學校
- III 保姆の立場と教養 ○利用厚生教育○保姆は子供に何を求むべきか○子供は保姆に何を求めてゐるか○保姆の教養○保姆養成の問題
- IV 幼兒教育の研究法 ○學問研究の態度○兒童心理學の發達○保育問題の解決法○自由遊びについての調査○遊具と幼兒の社會性
- V 幼兒生活の指導法 ○幼兒指導の態度○幼兒と言葉の訓練○子供の問と答○子供の嘘について○子供の生活指導○兩親教育の問題

生活技術と教育文化

法政大學教授
城戸幡太郎著
至一・八〇 千一六
四六判 二五三頁

兒童心理學

東京帝大講師
青木誠四郎著
至三・五〇 千二四
菊判 四四〇頁

兒童生活と學習心理

東京文理大講師
波多野完治著
至二・八〇 千一六
菊判 三九〇頁

教育は國民に國民としての生活技術を教へる技術である」と喝破して教育の正道を明かにす
教育實踐上に直ちに活用し得る兒童心理學を明快なる理論と整然たる體系の下に論述す
著者の全心理學的知識を總動員して兒童及教育實踐上の諸問題に解決を與へたもの

館文賢

東京電振
電話九
・田段五
・神四〇
・一
橋六八